項目	特記事項
○インバーター用制御及び操作盤	標準仕様書による。ただし下記の部分のみ本仕様による。 ○ 過負荷及び欠相保護装置、電流計並びに進相コンデンサーは不要とする。 ○ インバーター回路に使用する継電器等のコイル部には、サージ対策としてサージキラー等を設ける。 ○ 制御方式は、正弦波パルス幅変調方式とし、ストール防止機能を備えたものとする。 ○ 整流器の入力側の力率は、電動機の定格出力時において0.85以上とする。 ○ 盤外への高調波ノイズ対策用として、入力側にノイズフィルターを備えたものとする。 ○ 瞬時停電に対する自動回復運転機能を備えたものとする。 ○ 電動機の負荷特性に合わせた加減速時間を調整されたものとする。 ○ 回路内に過電流、過電圧等が発生した場合に作動する保護制御機能を備えたものとする。 ○ 回路内に短絡が発生した場合に作動する保護制御機能を備えたものとする。 ○ ○
○ 試験	既設配管を含む部分の試験方法及び試験圧力は標準仕様書第2編第2章第9節による。
● 総合調整	● 風量調整(測定共) ● 水量調整(測定共) ● 室内外空気の温湿度の測定 ● 室内気流及びじんあいの測定 ● 騒音の測定 ● 初期運転状態の記録 ● 飲料水の水質の測定 工事完了後、給水管及び水槽は十分に清掃を行い(○受水槽 ●給水管末端)で採水し、水道法に定めるところに準じ、(○水質検査(28項目) ●水質基準に関する省令(50項目))を実施する。 検査は公的機関及び厚生労働大臣の登録を受けた水質検査機関によって行い、検査報告書の提出をもって、これに適合しているか確認すること。 水質検査28項目は次のとおりとする。

- 一般細菌
- 大腸菌群
- 鉛及びその化合物
- 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素
- 亜鉛及びその化合物
- 鉄及びその化合物
- 銅及びその化合物
- マンガン及びその化合物
- 塩化物イオン
- 蒸発残留物
- 有機物(全有機炭素(TOC)の量)
- pH値
- 味
- 臭気
- シアン化物イオン及び塩化シアン
- 塩素酸
- クロロ酢酸
- クロロホルム
- ジクロロ酢酸
- ジブロモクロロメタン
- 臭素酸
- 総トリハロメタン
- トリクロロ酢酸
- ブロモジクロロメタン
- ブロモホルム
- ホルムアルデヒド
- 色度
- 濁度

● 管種

種別 ＼ 用途	冷温水	冷却水	蒸気	ブライン	冷媒	給水	給湯	消火管	排水	通気	管種記号	備考(規格)
水配管用亜鉛めっき鋼管	○	○							○	○	SGPW	JIS G 3442
配管用炭素鋼管(白管)	○	○						●			SGP	JIS G 3452
配管用炭素鋼管(黒管)			○	○							SGP	JIS G 3452
圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch 40)	○	○	○					○				JIS G 3454
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VLP)		○				○					(F)VA	JWWA K 116
消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(Sch 40)								○			VS	WSP 041
排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管									○	○	DVLP	WSP 042
一般配管用ステンレス鋼管	○	○				○	○	○				JIS G 3448
配管用ステンレス鋼管	○	○				○	○	○				JIS G 3459
水道用ダクタイル鋳鉄管(3種管)						●					CIP	JIS G 5526
排水・通気用鉛管									○			SHASE S 203
銅及び銅合金の継目無管					○	○	○					JIS H 3300
外面被覆銅管						○	●					JIS H 3330
保温付被覆銅管						○	○					[illegible] t=14mm以上
断熱材被覆銅管					●							JIS A 9511 [illegible] =20mm以上
硬質ポリ塩化ビニル管(VP)									●	●	VP	JIS K 6741
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)						●					HI	JIS K 6742
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF−VP)									○	○		JIS K 9798
水道用ポリエチレン二層管						○						JIS K 6762
架橋ポリエチレン管(PN15 1種管)						○	○					JIS K 6769
水道用架橋ポリエチレン管(メカニカル式)						○						JIS K 6787
ポリブテン管						○	○					JIS K 6778
水道用ポリブテン管(メカニカル式)						○						JIS K 6792
耐火二層管(性能評定品)									○	○		

a. ライニング鋼管の100A以上はフランジ接合とし、工場加工の溶接フランジとする。また、80A以下でフランジ接合する場合はコア内蔵フランジとする。
b. ライニング鋼管に使用する、ねじ込み継手はコア内蔵型とする。
c. 排水用塩ビライニング鋼管に使用する継手は、クッションパッキン付MD継手とする。
d. 圧力配管用炭素鋼鋼管の継手は80A以下ねじ込みとし、100A以上は溶接接合とする。
e. 外面硬質塩化ビニルライニング鋼管の継手は外面に樹脂被覆を施したものとする。STPG370VS用継手は、高圧用とする。又、継手部にはペトロラタム系の充填材を詰めた上、防食シートで包み、プラスチックテープを1/2重ね1回巻きとする。
f. 水道用ダクタイル鋳鉄異形管は特殊押輪を使用する。
g. 膨張管及び膨張タンクよりの補給水管及びドレン管(ポリブテン管)は、冷温水管に準ずる。
h. エア抜き管及び水抜き管は、取出部の管材に準ずる。
I. 架橋ポリエチレン管・ポリブテン管に使用する継手はメカニカル接合とする。

項目	特記事項
● 弁類	・バタフライ弁のゴムシートは耐塩素性を強化したEPDMとする。 ただし、給湯系統に使用する場合はフッ素ゴムとする。 ・給水系統に設置する鋳鉄製弁は、ライニング弁とする。 ・50以下のライニング管に取付ける弁は、コアー内蔵形とする。 ・ボール弁のボア(ポート)の形状については、フルボア形とする。
○ 伸縮管継手	○ ベローズ形　○ スリーブ形
● 防震継手	● ベローズ形　● 合成ゴム製球形　○ 3山樹脂製ベローズ形
● フレキシブルジョイント	● ベローズ形　● 合成ゴム製
○ 絶縁継手	標準仕様書による。ただし下記の部分のみ本仕様による。 接続する機材がそれぞれ鋼とステンレス又は鋼と銅は標準図(異種管の接合要領)による。

項目	特記事項
● 量水器	● 親メーター (●貸与品　○ 買取り) ○ 子メーター (○貸与品　○ 買取り(形式 ○ 直読式 ○遠隔式リモート ○電子式))
● 量水器桝	● 水道事業者指定品(○貸与 ●買取)　○ 府型
○ 水栓柱	○合成樹脂製 ○人造石とぎ出し製 ○アルミニウム合金製 ○ステンレス鋼製
● 埋設管	給水管及び消火管の埋設深度(土被り)は、下の表による。

		敷地内道路	一般	公道
埋設深度(土被り)	直圧給水	(60)cm以上	(30)cm以上	( )cm以上
	給水	(60)cm以上	(30)cm以上	( )cm以上
	消火	( )cm以上	( )cm以上	( )cm以上
	油	( )cm以上	( )cm以上	( )cm以上
標識柱・ピン	給水(● 要(図示部)・○ 不要)　消火(○ 要(図示部)・○ 不要) 油 (○ 要(図示部)・○ 不要)　排水(○ 要(図示部)・○ 不要)			

・標示柱・ピンは標準施工図による。
埋設管路の屈曲箇所、道路横断箇所、直線部分については40m毎に設ける。

● 保温

空調工事種目別仕様

標準仕様書による。ただし下記の部分のみ本仕様による。
○ 共同溝の保温は機械室と同等とする。
○ 換気用ダクト
○ 全熱交換形換気扇(空調換気扇)の給排気ダクトの保温　要
(○屋内露出部の保温厚25mm)
(屋内露出の保温外装は、(○カラー亜鉛鉄板、○ ステンレス鋼板))
● 外気取入れ用ダクト
○ 排気用ダクト
○ 空調している建物内の還りダクト
○ 屋内外露出排煙ダクト
○ 内張りしたダクト及びチャンバー
○ 断熱材付きフレキシブルダクト及びたわみ継手
○ 屋外露出の煙道及び煙突(図示部)
○ 放熱器廻りの蒸気管及び温水管
○ 蒸気還り管
○ 蒸気管及び温水管で、屋内及び暗渠内の各種装置廻りの配管
○ 蒸気管及び温水管で、屋内及び暗渠内の伸縮管継手、防振継手、フレキシブルジョイント等
○ 冷凍機の冷却水管
○ ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント
○ 各種タンク類のオーバーフロー管及びドレン管(冷水、冷温水の第1バルブまでを除く)
○ エア抜弁以降の配管及び排泥弁以降の配管
○ 油管

衛生工事種目別仕様

標準仕様書による。ただし下記の部分のみ本仕様による。
○ 共同溝の保温は機械室と同等とする。
○ 鋼製タンク(ただし、蓋の保温は除く)
○ 給水管で、ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント
○ 給湯管で、屋内及び暗渠内の伸縮管継手、防振継手、フレキシブルジョイント等
● 断熱材被覆銅管の保温(標準施工図参照)
給水管保温仕様(保温厚20t)とし、保温外装は下記による。
屋内露出(●綿布 ○保温化粧ケース ○カラー亜鉛鉄板　ステンレス鋼板)
屋外露出(●ステンレス鋼板 ○ 保温化粧ケース○ カラー亜鉛鉄板)
○ 排水管で、暗渠内配管(ピット内を含む)、最下階の床下配管、屋外露出配管及び耐火二層管
○ 通気管(排水管分岐点より100㎜以下の部分は除く)
○ 消火管
○ 厨房機器及びガス湯沸器廻りの配管
○ 各種タンク類のオーバーフロー管及びドレン管
衛生器具の附属品(流し下部の床上排水管を含む)
○ エア抜弁及び排泥弁以降の配管
○ 地中又はコンクリート埋設配管

● 保温材等

種別 ＼ 用途	空気調和設備 温水	蒸気	冷水・冷温水	冷媒	タンク	ヘッダー	長方形ダクト	スパイラル	給排水衛生設備 給水	排水・通気	給湯	タンク	消火
グラスウール	○	○		●	○		●		●	○		○	○
ロックウール			○			○					●		
ポリスチレンフォーム				○	○			○			○	○	
外装材等													
保温化粧ケース(屋内露出)													
保温化粧ケース(屋外露出)				●									
カラー亜鉛鋼板(屋内露出)													
樹脂製カバー(屋内露出)													
ステンレス鋼板(屋外露出)									●		●		

※冷媒管の保温詳細については標準施工図による

● 耐震性能の確認

耐震の計算及び施工方法については、標準仕様書、標準図及び図面に記載なきものは、「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)」による。
下表の設計用水平震度及び鉛直震度は建築物の構造体がRC·SRC·S造のものに適用する。
据付ボルト・アンカーなどの耐震性能を確認し、監督員の承諾を受ける。
・設計用水平震度

設置場所	機器種別	● 特定の施設 ● 重要機器	● 一般機器	○ 一般の施設 ○ 重要機器	○ 一般機器
上層階・屋上・塔屋	機器	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機器	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機器	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

※( )内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
・鉛直震度は、水平震度の1/2とする。
・上層階・中間階等の取扱いは以下とする。

	2~6階建	7~9階建	10~12階建	13階建以上
上層階・屋上・塔屋	最上階	上層2階	上層3階	上層4階
中層階	地下階、1階を除く各階で上層階に該当しない階			

設置場所の区分は機器を支持している床部分にしたがって適用する。床又は壁に支持される機器は当該階を適用し、天井面より支持(上階床より支持)される機器は支持部材取付床の階(当該床の上階)を適用する。

項目	特記事項
○ 空調機用トラップ	○ドラム式　○フロートボール式
○ ファンコイルユニット接続部	○流量調整弁　○定流量弁
● 塗装	・ピット内は不要。但し鋼管は塗装する。 ・ビニル管は不要。 ●亜鉛メッキされた露出ダクトや配管
● 建設発生土の処理	○ 構外搬出処分　○構内指示場所に堆積　●構内指示場所に敷き慣らしする。
○ 非破壊検査	既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけ等はつり工事を行う箇所については、 ○ 放射線透過検査を行う。 測定を行う壁厚は、○ 200mm以下 ○ 250mm以下 測定を行う箇所は、図示による。 ○ 簡易探査(壁厚150mm以下、50Φ以下)を行う。 測定を行う箇所及び方法は、図示による。
○ あと施工アンカー確認試験	○ 性能確認試験　○ 施工後確認試験 試験結果を報告書としてまとめ、監督職員に提出する。

(7) 空調工事種目別仕様

項目・・・	特記事項
● 設計温湿度条件	(下表)

場所			屋内 一般系統			
時期	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	35.1 ℃	53.1 %	26 ℃	50 %	℃	%
冬期	1.8 ℃	51.0 %	22 ℃	40 %	℃	%

項目	特記事項
● 冷媒	各種冷凍機、電気式及びガスエンジン式のパッケージ式空調機、同ビルマルチ式空調機ルームエアコン等を使用する冷媒については、機器リストの記述による。
○ 加湿器	○ 蒸気噴射式 ○ 水加圧噴射式 ○ 水気化式
○ 氷生成装置	○ スタンティック形(○ 内融式 ○ 外融式 ○ カプセル式) ○ ダイナミック形
● 成績係数等	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」及び「大阪府グリーン調達方針」による。 また、成績係数の記載がないものについては機器リストによる。
● エアフィルター	○ 折込み形エアフィルター (フィルター形式は下の表による。)

中性能 標準形	中性能 薄形	高性能 標準形	高性能 薄形	HEPA 標準形	HEPA 薄形
●	○	○	○	○	○

● パネル形エアフィルター
ろ材ユニット(● 再生式　○ 非再生式)
○ 袋形エアフィルター
○ 自動巻取形エアフィルター
○ 電気集じん器(○ 自動巻取形 ○ パネル形)

項目	特記事項
○ 吹出口・吸込口BOX	● 亜鉛鉄板製 ○ グラスウール製
○ グリス除去装置	○ グリスエクストラクター　○ グリスフィルター
● ダクトの種類	● 低圧ダクト ○ 高圧1ダクト ○ 高圧2ダクト
● ダクトの工法	低圧ダクト:コーナーボルト工法・アングルフランジ工法のいずれも可とする。 ただし、長辺が1,500mmを超える場合はアングルフランジ工法とする。 高圧ダクト:アングルフランジ工法とする。
○ 厨房排気ダクトの板厚	ダクトの材質は○亜鉛鉄板製 ○ステンレス鋼板

ダクト板厚	長方形ダクトの長辺( )は円形ダクトの直径 亜鉛鉄板	ステンレス鋼板
0.5以上		450mm以下(750mm以下)
0.6以上	450mm以下(750mm以下)	450mmを超え1,200mm以下(750mmを超え1,000mm以下)
0.8以上	450mmを超え1,200mm以下(750mmを超え1,000mm以下)	1,800mmを超えるもの(1,000mmを超えるもの)
1.0以上	1,200mmを超え1,800mm以下(1,000mmを超え1,250mm以下)	
1.2以上	1,800mmを超えるもの(1,250mmを超えるもの)	

※( )内の数値は円形ダクトに適用する。

項目	特記事項
○ 電動弁	○ 開閉状態を遠方表示する接点を設ける。
○ 中央監視制御装置	○ システム構成は(○ コンソール形 ○ デスクトップ形 ○ 壁掛形) 監視制御機能は下記の部分のみ本仕様による。

	名称		名称
監視機能・表示機能・操作機能	○ 状態・警報監視 ○ 動作監視 ○ 計測 ○ 計測値上/下限監視 ○ グラフィック表示 ○ 各種リスト表示 ○ システム監視 ○ オペレーションガイダンス ○ 手動個別発停操作 ○ グループ一括発停操作 ○ 個別設定操作 ○ 積算	制御機能	○ 連動制御 ○ スケジュール設定・制御 ○ 外気取入制御 ○ 最適運転/停止制御 ○ 火災時空調機器等停止制御 ○ 季節切替制御 ○ 間欠運転制御 ○ 変流量送水圧力設定制御 ○ PMV管理制御 ○ 無効電力制御 ○ 停電・復電制御 ○ 非常用発電装置負荷制御 ○ 電力デマンド監視 ○ 電力デマンド制御 ○ 照明制御
保全業務支援機能	○ 機器台帳管理 ○ 機器稼動履歴監視 ○ 集中検針機能 ○ 課税機能 ○ 施設管理機能 ○ 統計処理機能 ○ 保守スケジュール管理 ○ エネルギー解析機能	データ管理機能	○ 計算機能 ○ グラフ作成機能 ○ 作表印字 ○ メッセージ印字 ○ 日本語文章作成機能 ○ データ検索機能 ○ 長期データ収集
その他	○ 外部警報出力機能 ○ 防災設備統合機能 ○ 防犯設備統合機能 ○ 通信処理機能		

項目	特記事項
○ グラフィックパネル	(○合成樹脂製パネル ○ 鋼板製パネル ○ 合成樹脂モザイクパネル)
○ 印字装置	(○ドットインパクト方式 ○インクジェット方式 ○ 電子写真方式)

項目	特記事項
○ ガスバーナー	制御方式は (○ オン・オフ制御　○ ハイ・ロー制御　○ 比例制御) ただし、簡易ボイラーについてはオン・オフ制御方式とする。
○ 鋼板製煙道	煙道の板厚は、φ300以下のものは3.2mm、φ300を超えるものは4.5mm以上とする。 ばい煙温度計取付座・ばいじん量測定口・伸縮継手・掃除口については図示部に設ける。

(8) 衛生工事種目別仕様

項目	特記事項
● 弁類	高架水槽下り管及び給湯管に設置する弁についてはJIS又はJV(5K) それ以外についてはJIS又はJV(10K)
○ 受水槽附属品	○ 緊急遮断弁　○ 給水栓
○ 連結送水管	送水口型式(○ 壁埋込型 ○ スタンド型) 接続口 (○ 双口形 ○ 単口形)
● スプリンクラーヘッド	● 閉鎖型 (○ 標準型 ● 高感度型 ○ 小区画型 ○ 側壁型) ○ 開放型　○ 放水型
○ 厨房機器の安全装置	標準仕様書による。ただし、(○:黒丸塗)がある場合にはその区分とする。

機材名		立ち消え安全装置	不完全燃焼防止装置	過熱防止装置	空焚き防止装置
ガスレンジ	コンロ部	○			
	オーブン部		○	○	
電気レンジ	オーブン部			○	
ガステーブルレンジ		○			
ガス揚物器(フライヤ)			○		○
電気揚物器(フライヤ)					○
ガス焼物器				○	
電気焼物器				○	
ガス煮炊釜				○	
電気煮炊釜				○	
洗浄消毒機器:ガス加熱式食器洗浄器			○		

変更年月日	南海辰村建設 一級建築士事務所	設計年月日 2018.03.26	工事名称 西成労働福祉センター仮移転施設	特
部長	課長	設計番号 *	縮尺 A1:− A3:−	図面名称 特記仕様書(1)	図番 02/全2